

# 情報連絡員報告総括表(平成30年3月分)

三重県中小企業団体中央会  
連絡員総数 40名  
回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況						
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化				
製 造 業	食料品	1	3			4		1	3			4			2	2		3	1		4			4			1	3			
	繊維工業	2	1		1	2			3			3			3			3			3			3			3				
	木材・木製品		1				1		1			1			1			1			1			1			1				
	紙・紙加工品		1	1	1	1		1	1			2			1	1		2		1	1			2			2				
	印刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1				
	化学・ゴム																														
	窯業・土石製品	1		2		3			3			3			3			3			2	1		3			3				
	鉄鋼・金属	1				1			1			1		1			1			1				1		1					
	一般機器	2	1		1	2			3			3			3			3		1	2		1	2		1	2				
	電気機器	1				1			1			1		1			1			1			1			1					
輸送機器	1				1			1			1			1			1		1			1			1						
その他																															
小計	9	8	3	3	16	1	2	18			20		2	15	3	2	17	1	5	14	1	3	17		4	13	3				
非 製 造 業	卸売業	1		1		1	1		1	1		2		1		1		2		X				2			1	1			
	小売業		2	4	1	4	1	2	2	2		5	1		2	4		3	3					5	1		3	3			
	商店街		1			1			1			1			1			1						1			1			1	
	サービス業	2	2	1	X			1	4		1	4		1	3	1		4	1					5			1	3	1		
	建設業		2	2					3	1		3	1		3	1		3	1					3	1		3	1		3	1
	運輸業	1							1			1			1			1						1			1			1	
	その他		1			1			1			1			1			1						1			1			1	
小計	4	8	8	1	6	2	3	13	4	1	17	2	3	10	7		15	5		18	2	1	13	6							
合計	13	16	11	4	22	3	5	31	4	1	37	2	5	25	10	2	32	6	5	14	1	3	35	2	5	26	9				

## 最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成29年3月～平成30年3月)

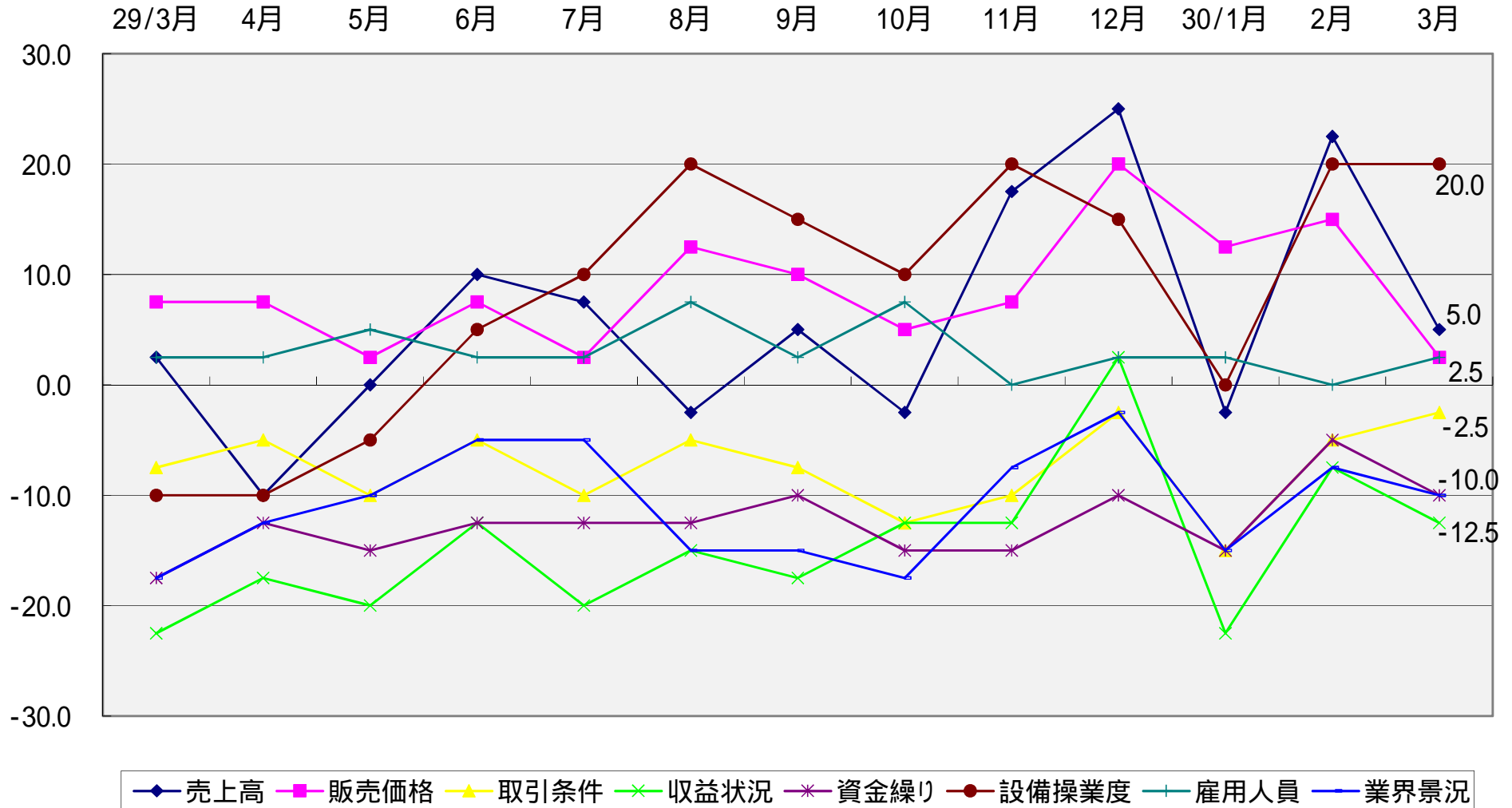
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	29/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30/1月	2月	3月	増減
売上高	2.5	-10.0	0.0	10.0	7.5	-2.5	5.0	-2.5	17.5	25.0	-2.5	22.5	5.0	-17.5
販売価格	7.5	7.5	2.5	7.5	2.5	12.5	10.0	5.0	7.5	20.0	12.5	15.0	2.5	-12.5
取引条件	-7.5	-5.0	-10.0	-5.0	-10.0	-5.0	-7.5	-12.5	-10.0	-2.5	-15.0	-5.0	-2.5	2.5
収益状況	-22.5	-17.5	-20.0	-12.5	-20.0	-15.0	-17.5	-12.5	-12.5	2.5	-22.5	-7.5	-12.5	-5.0
資金繰り	-17.5	-12.5	-15.0	-12.5	-12.5	-12.5	-10.0	-15.0	-15.0	-10.0	-15.0	-5.0	-10.0	-5.0
設備操業度	-10.0	-10.0	-5.0	5.0	10.0	20.0	15.0	10.0	20.0	15.0	0.0	20.0	20.0	0.0
雇用人員	2.5	2.5	5.0	2.5	2.5	7.5	2.5	7.5	0.0	2.5	2.5	0.0	2.5	2.5
業界景況	-17.5	-12.5	-10.0	-5.0	-5.0	-15.0	-15.0	-17.5	-7.5	-2.5	-15.0	-7.5	-10.0	-2.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票 (三重県中小企業団体中央会・平成30年3月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	漬物	農林水産省による食品価格動向調査によると、漬物の主力原料である白菜と大根は、台風・低温・日照不足による生育遅れと早採り等の負の連鎖が続き、平年比で2~3倍の高値が11月から5カ月連続し、回復には到っていない。このため、業界全体としては契約分の原料が入らず市場購入を余儀なくされ、量目調整しても利益率を大幅に圧迫している。ただ、3月下旬から春・夏向けの棚替えに伴う季節感を演出する売場も見られ、春キャベツ、春小かぶ等を含め期待しているところである。
		醤油味噌	3月29日に開業した東京ミッドタウン日比谷に、組合員が本格タイ料理レストラン「ブーケットオリエンタル」を出店した。「三重・しょうゆ街道」は、3月17日~21日までイオン沖縄ライカムで実施した。4月は、13日~15日までイオン東員店にて実施する。
		豆腐	包装資材が5月から8月にかけて値上がりするという情報がある。
		製麺	麺業界も個人商店は、毎年、廃業者が出ていて、厳しい状況が続いている。当界も伊勢うどんや生ラーメンに特化した事業者しか事業を続けていけないのが現状である。しかし、伊勢うどんは、年々知名度も上がり、お土産やテレビ、マスコミ等で取り上げられている。これから全国に伊勢うどんの知名度を上げていけるように精進していく。
	木材・木製品	木材	県下ではバイオマス発電所4社の稼働に加えて4月からは多気町で大手合板工場が本格稼働しており、原木不足が懸念されている。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	段ボールケース・製品のユーザーへの値上げ活動がピークを迎え80%位は完了する。一部大手ユーザーへの値上げ依頼が4月以降になる。ユーザーの決算月となり、昨年よりは増産傾向で段ボールケースの物量もまらず動いている。
		古紙	3月の取扱い重量は、前年比で段ボール：約100±5%位、新聞、チラシ：約92±4%位、雑誌・雑紙・その他合わせて約93±5%位の模様。段ボール古紙の入荷は春物が好調の様で前年より良いところがある。新聞古紙と雑誌古紙の入荷はスマートホンによる紙離れが多く、前年割れとなった。各板製紙会社(段ボール・白板原紙等)の生産はフル操業のところが多く、紙製紙会社(印刷・コピー・新聞用紙等)は減産となった。円高だが、原紙の輸出もある。中国の再生原料の輸入規制は今も続いており、古紙輸出ができないと業務が止まり大問題となる。日本からの古紙輸出価格は、前月より下落した。人手不足と高齢化・労働条件の改善と賃金の上昇など、大きな課題が山積みである。
	印刷	印刷	年度末の繁忙期で、需要は他の月と比べて格段に増加した。しかしながら官公庁をはじめ多くの印刷物は、年度内納品厳守のものが多く、年度初めは非常に厳しい状況である。
	窯業・土石製品	伊賀焼	3月になり、気温が上がって暖かくなってきたが、伊賀焼伝統産業会館、伊賀・信楽古陶館とも来館者数は伸びず、昨年を下回り、それに伴い売上も昨年を下回った。4月に期待したい。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は、2月と比べ決算調整もあって若干減少気味であった。ただし、全体的に4月以降も半導体関連商品を中心にまだまだ増産傾向は続き、人手不足も解消されず、派遣労働者にて対応するといった状況は変わらない。
一般機器	四日市	組合の解散が増えつつある中、当四日市機械器具工業協同組合は、組合員各位の自助努力もあって、脱退者もなく、45社余りが結束して頑張っている。職種は各々に異なるが、仕事の確保には困っていない。	
	伊勢	各社で労使間の賃上げ交渉を行っているが、景気の好況感や人手不足を受け、総じて前年以上の強気の要求額のところが多い。また、新卒者の採用活動では、初任給以外に、所定労働時間や所定休日数に学生の関心が強く、働き方改革など世間の動きに対応していくために、会社の勤務条件の見直しや検討も必要となってきている。	
電気機器	鳥羽	期末の追い込みも受発注共に一段落した。新年度に期待している。	
輸送機器	鈴鹿	昨秋以降の繁忙なまま年度末を迎えたが、4月以降に増産になるにも関わらず、取引先が決算月ということで、在庫を極端に減らすために稼働を休止せざるを得ない製品があり、計画的な生産活動ができなかった。その反動で4月は過剰な長時間労働を強いられることになってしまう。	
非製造業	小売業	青果	野菜：前半、気温が上がって、雨も降り、野菜類の生育が順調になり、レタス・ホーレン草・小松菜は、平年並みの価格である。キュウリ・トマトも安定し、県内産の菜花も入荷が回復し、お手頃価格である。後半、入荷が増えたホーレン草・小松菜・ブロッコリーも昨年より安価である。トマトも生育順調で安い。キャベツ・白菜・大根も例年並みの価格になってきている。果物：前半、気温上昇でイチゴが先月と比べ、2割ほど安い。柑橘類も全般的に値段が下がっている。後半、イチゴは急激に暖かくなり、傷みが早く、品薄になり、高い。柑橘類の清見オレンジは、今年は豊作で果汁が多く、例年より2割ほど安い。リンゴは青森産の貯蔵量が少なく高値である。
		自転車	先月の日商連推奨車に続き、3月はタイヤ・チューブセットお買い得キャンペーンを案内したが、この時期は修理・部品交換に来店するユーザーも少なく、各組合員は反応を示さず、少量の注文にとどまった。また通学用自転車の販売においては2月下旬から3月上旬にかけて多少の動きがあり、メーカーの一部商品に売売が出たものの、10日以降の注文は皆無となった。このように、少子化により台数では昨年比15~20%程度の減少となり、1店舗の企業努力ではどうにもならないような状況となっている。

非製造業	小売業	電器	30年度の春商戦がスタートし、各お店での個展や合同展示会が実施され、昨年並みの販売状況である。白物家電や4K対応テレビを中心に販売に力を入れており、リフォーム関連も順調に推移している。ただし、展示会でのコストは掛かってきており、差益率は低下の傾向にある。また、活動としては、お客様訪問を継続して実施しており、見込み客の発掘や買換え需要の促進活動を進めている。
		石油	3月度の燃料油販売数量の状況は、前年対比4%前後の減販であった。灯油についても3月は暖冬の影響により販売数量については期待できなかった。収益についてもタイヤ・オイル等の油外商品を重点に販売強化を行ったが今一步の成果であった。総務省が2017年度の2人以上世帯のガソリン購入量が発表され、全国平均で前年比1.6%減の476.4Lであり、津市が634.7Lで前年対比11.1%減であった。軽自動車の普及及びHVなどの省エネ自動車等の影響もあり、増々燃料減販に対する油外商品の販売強化を考えなければならない。
		スポーツ	先日の理事会の話題であったが、各学校又は教育委員会において1年間の予算の残りを3月中に消化するために注文が集まるのだが、特に備品等では納品に2～3週間かかるものが大変多く、年度内に納品できない製品の注文も多くあるため、断ることが多々あるとのことであった。また、商品について詳しくない事務方がインターネットなどで注文することもあるようだが、学校に最適なものを注文してもらうために、融通の利く制度であればよいのにと感じる。
	商店街	熊野	今月の朝市イベントは、毎年恒例となっている南紀歯科医師会と三重県衛生士会南紀支部の「歯科コーナー」、三重県薬品、また三重県看護協会紀南支部のお馴染みの「まちの保健室」そして紀南薬剤師会の「お薬相談」と各医療機関のご協力を得て「健康診断スタンプラリー」を開催、高齢者のお客様を中心に集客に繋がった。
	サービス業	旅館	2月中旬の「春節」のあたりより、持ち直していた宿泊客数は3月に入ってからも続いていて、後半の春休みに入ってから一段と増えたため、前年・同月を超える業績を残すことができた。特にインバウンド（外国人旅行者）のF I T（個人客）が各地でよく見かけるようになったことは、誘客対策の効果が出ているように感じる。
		警備	年度末のため公共事業の追い込みで大変忙しい時期であった。また、この時期のみ人手不足のため、高受注額となった。
	建設業	内装工事業	3月は年度末ということで、例年売上は多い方であるが、今年度は厳しく、売上はかなり減少した。
		水道工事業（四日市）	3月は年度末ということもあり、仕事量は増加した。それに伴い、人件費も増加したため、収益状況は良くなっているとは言えなかった。
	運輸業	トラック	ドライバー等従業員の確保が難しく、ドライバー不足の状況にある。

#### 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	
食料品	製麺	今後、組合活動も伊勢うどんを中心にレベルアップを行い、HACCP問題もクリアしていけるように取り組んでいく。今後のご支援願います。
一般機器	四日市	中央会を通じて毎年国のものづくり補助金を交付していただいている有り難い制度であるが、予算の増額を願いたい。
サービス業	旅館	「サービス産業の生産性の向上」は我々の業界にとっては喫緊の課題であるが、今年度の県予算で「宿泊業の生産性の向上」に対して700万円付けて頂き、感謝しているが、今年をスタートとして、数年間かけて成果が出せるような取組みをお願いしたい。